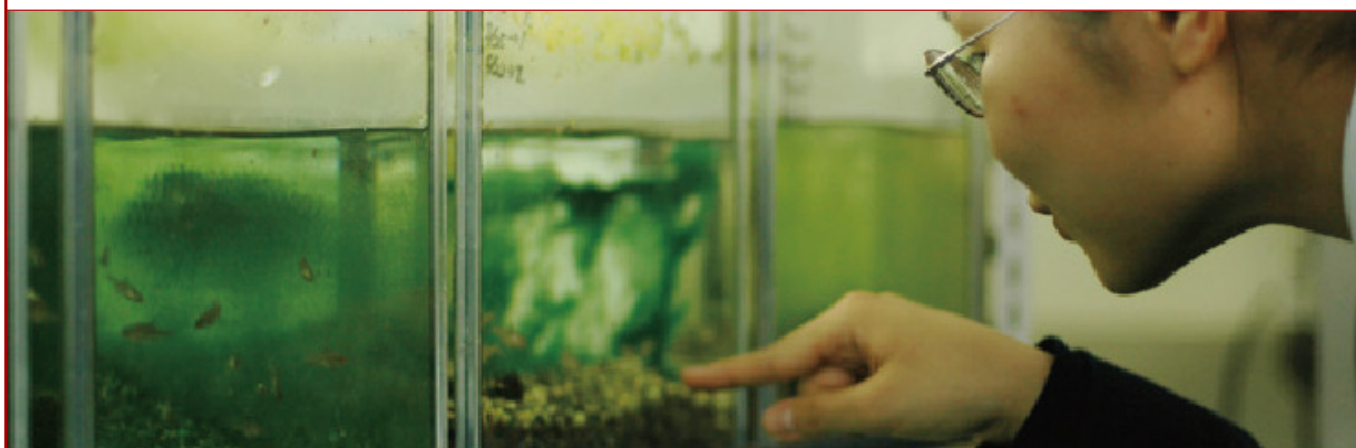


～盈進中学高等学校 環境科学研究部～



こどもエコクラブ



Silent Power

～もの言わぬ小さな命を、地域の自然を、環境を、守り続ける力～

活動内容

- ・ 絶滅危惧種1A類スイゲンゼニタナゴの保護と飼育・繁殖のための活動と研究
- ・ 芦田川水系の水質&水生生物調査
- ・ 千塚池の県指定絶滅危惧種オニバスの観察調査
- ・ 瀬戸内海の汚染度についての指標生物調査
- ・ 県指定絶滅危急種ハクセンシオマネキの観察調査

目次

・ スイゲンゼニタナゴ産卵母貝分布調査……………	1
・ P e c o (ペコ) 活動をはじめよう! ……………	2
・ スイゲンゼニタナゴを守る市民の会定例会……………	3
・ 小学生8名がクラブ体験に参加! ……………	4
・ 川魚採り名人養成講座を開きました! ……………	5
・ 宇宙メダカのビオトープ観察……………	6
・ 広島県生物多様性地域戦略ワークショップ……………	7
・ 全国中高生水フォーラム2012に参加! ……………	8
・ アブラボテ捕獲作戦……………	9
・ 26年ぶりシマヨシノボリの生息確認! ……………	10
・ タナゴ水中動画撮影作戦決行! ……………	11

～スイゲンゼニタナゴ産卵母貝分布調査～

- 活動日：2012年3月20日
- 実施場所：福山市芦田川用水路
- 参加メンバー&サポーター数：22人

【活動内容】

私たちは、20年近く絶滅危惧種スイゲンゼニタナゴの生息保護地での産卵母貝の分布調査を続けています。

この魚は、現在岡山県の河川と広島県の芦田川にのみ生息しています。他のタナゴ類と同様に二枚貝に産卵する習性をもっていて、流れのある小川や用水路で、小型のイシガイやマツカサガイを選んで産卵します。

そこで、産卵期をむかえる前の3月に二枚貝の種類と分布をヘドロのたまった川底を手探りで確認しています。手はかじかむし、腰は痛むし、大変です。

ただ、長い間先輩たちの続けてきた活動をつなげてみると、この流域が、川底の状態だけでなく、すんでいる魚の種類、そして二枚貝の種類や数まで大きく変化していることが分かりました。

すでに2007年からスイゲンゼニタナゴの姿も見られなくなりました。多くいたマツカサガイは減り、泥地に適応したトンガリササノハガイばかりになり、他のタナゴ類の越冬地にもなっていない状況です。



～Peco（ペコ）活動をはじめよう！～

- 活動日：2011年5月17日
- 実施場所：盈進中学高等学校内
- 参加メンバー&サポーター数：22人

【活動内容】

2011年3月11日の東日本大震災の被災者の方々に、私たちの手のできることを考え、Peco活動を始めました。Pecoとは「Peace by Eco」をちぢめた分かりやすい言葉としてみんなになじんでもらおうとして作った言葉です。

ただ単に「募金活動」をするのではなく、それぞれの家庭からアルミ缶・スチール缶を持ってきてもらい、収納ボックスに入れてもらい、学期ごとに整理して、業者に引き取ってもらい、そのときの収益金を被災者支援金として、募金させてもらっています。



【参加者のようす】

昨年は、全部で約1万円の寄付金となりましたが、ベルマーク・古切手などたくさんやりすぎて、大変でした。でも、自分たちが苦勞した分がお金になり、役立っていると思うと、本当にやりがいがあるなと思いました。

いつでもどこでもその気になればだれでも活動が始められると思うとうれしかったです。

～スイゲンゼニタナゴを守る市民の会定例会～

- 活動日：2012年6月9日
- 実施場所：盈進中学高等学校百年館
- 参加メンバー&サポーター数：15人

【活動内容】

保護活動を広く地域の人たちや自然愛好家、学識者、行政に関わる方々に呼びかけ、スタートした「スイゲンゼニタナゴを守る市民の会」も3周年を過ぎたところです。ほぼ毎月1回行われてきた定例会に今回も参加させていただきました。地域の人たちの理解も次第に深まっていき、お互いの情報交流やパトロール中の出来事など現場でのお話を聞かせていただけるだけで嬉しく思いました。

最初は20名程度の大人たちでの集まりだったのが、今は40名を超えるまでになっています。

今回は私たちの活動報告の機会もくださり、「広島県下で唯一自生が確認されている千塚池のオニバスの観察と魚種について」高校部長・副部長が緊張した表情で発表していました。



【参加者のようす】

いろいろな立場なのに自主的に定例会に参加して下さる方々にいつも頭が下がります。遠くからもかけつけて、川の生き物の話を楽しそうにしている大人の人たちを見ていると、こういう交流会はいいなあ、と思います。

～小学生8名がクラブ体験に参加！～

- 活動日：2012年6月16日
- 実施場所：盈進中学高等学校 環境科学研究部部室&飼育室
- 参加メンバー&サポーター数：15人

【活動内容】

6月16日土曜日、地域の小学生8名が私たちの自然保護活動について、学びにきてくれました。パワーポイントを使って、野外調査活動・合宿・学園祭での展示発表・個人研究の様子・出前講座など、どのように調査を進めたりまとめたりしているのかを分かりやすく話していきました。

そして、スイゲンゼニタナゴが福山市にとってどれほど貴重な淡水魚なのか理解してもらうために丁寧に発表した後、飼育室に案内し、今年生まれたばかりの稚魚たちの様子を含めて、観察会を行いました。



【参加者のようす】

小学生たちは、50以上もあるスイゲンゼニタナゴ飼育室の水槽の多さに驚いていました。エサやりや温度調整の難しさやインキュベーターなどの設備の多さにも声が出ないみたいでした。

ひととおり説明した後、じっくり観察するように伝え、オス・メスの区別もつくようになり、いろんな質問が出はじめました。

一人でも多くの人に、地域の宝物を大切にするための活動に加わってほしいので、小学生が8名もきてくれたことがうれしかったです。

～川魚採り名人養成講座を開きました！～

- 活動日：2012年6月30日
- 実施場所：松永町本郷川
- 参加メンバー&サポーター数：2人

【活動内容】

福山市松永町に流れる本郷川で、小学生10名と保護者の皆さんを対象に「魚採り名人養成講座」を開きました。

サデ網での魚の追い方や魚の居場所など説明した後、てんでにちらばり見事に児童全員、川魚をゲットしました。

ハゼ類だけでも、ビリンゴ・チチブ・ゴクラクハゼ・アベハゼ・ヒメハゼ・ミミズハゼ・トビハゼ・カワヨシノボリ・マハゼ・アシシロハゼの10種類が採集できました。広島県でもこの本郷川の汽水域は、生物多様性の極めて高いことをあらためて参加者とともに確認できました。



【参加者のようす】

どうしても魚を追ってタモ網を動かす子どもたちに、網をじっと構えて魚を追い込んで見せることを何度も見せているうちに、「採れた！」「採れた！」「これ何の魚？」と、忙しくなっていく、そのときの子どもの笑顔はすてきですね。

小学6年生の女の子2名は、とことん手づかみにこだわり、何種類ものハゼを掴まえていました。観察眼がしっかりしている証拠です。しかも観察会が終わった後も「また採れたあ～！」と対岸から叫びます。何度も川を横切りながらワクワクっぱなしでした。

～宇宙メダカのビオトープ観察～

- 活動日：2012年7月7日
- 実施場所：盈進中学校理科教室
- 参加メンバー&サポーター数：8人

【活動内容】

3年前からスペースシャトルでの実験に使われた「宇宙メダカ」の子孫をいただき、継代飼育しています。

梅雨が続き、フィードワークができないこともあり、18代目になる宇宙メダカたちの飼育水槽中の微生物の観察を行いました。毎日、エサを与えている訳でもないのに繁殖を続けている原因を探ることが目的です。



【参加者のようす】

最初、中学部員みんなで予想をたてました。長い間、放置していても繁殖を繰り返しているのだから、きっとたくさんのプランクトンが観察できるにちがいないという結論になりました。

ゾウリムシやワムシ・ミジンコといった動物プランクトンが観察できると期待して、顕微鏡をのぞきました。いくら探しても、アオミドロの仲間やその接合子・ケイソウ、また線虫のなかまくらいしか見つかりませんでした。とても意外でした。

みんなで考えた結論は、「宇宙メダカたちが繁殖した動物プランクトンを次々と食べているのではないか？」です。

次は、エサを多くあげてみて、観察してみたいと思います。

～広島県生物多様性地域戦略ワークショップ～

- 活動日：2012年8月4日
- 実施場所：福山市ローズコム
- 参加メンバー&サポーター数：4人

【活動内容】

水生生物調査後、午後からは「広島県生物多様性地域戦略ワークショップ」に参加しました。備後地域における生物多様性の危機に関する個々の具体的な生物種の状況報告・考えられる原因・備後の自然について誇りに思うことがら・今後の展開について、ワークショップ形式でまとめていくものでした。鳥好き・虫好き・魚好きなどいろんな分野から互いの状況や将来の夢などを確認しあいました。こうしたワークショップを通して、広島県としても今後の生物多様性を進めていく材料にするそうです。

私たちは、当然ですが「芦田川の特異性」「スイゲンゼニタナゴの保護」について、あらためて伝えてきました。



【参加者のようす】

いろいろな立場の参加者がいて、どのように進行していくのかが楽しみでしたが、ポストイットを利用した形式で行われ、意見が出しやすくとてもなごやかなムードでした。

広大の先生によるまとめ方や展開も分かりやすく、生物保護に関わる人も狩猟に関わる人も同じ仲間意識を共有できる場になったと思います。

～全国中高生水フォーラム2012～

- 活動日：2012年8月7日
- 実施場所：千葉県君津市
- 参加メンバー&サポーター数：5人

【活動内容】

8月7～9日に千葉県で開かれた「全国中高生水フォーラム2012」に5名の部員で参加してきました。

私たちは第4分科会「生活や産業に必要な水」をテーマに全国からの報告を聞き、また芦田川の利水のようにスイゲンゼニタナゴの保護活動のようにについて発表してきました。

それぞれの発表内容をポストイットを使って「関連性をもとにつなげていくワークショップ」はとても役に立ちました。



【参加者のようす】

みんな仲良く前向きに話し合いました。笑いが絶えず、劇作りなどそれぞれのキャラも考えながら行えて本当に楽しめました。

～アブラボテ捕獲作戦～

- 活動日：2012年8月9日
- 実施場所：芦田川支流
- 参加メンバー&サポーター数：5人

【活動内容】

学園祭に向けて、今日はアブラボテの捕獲にでかけました。アブラボテはタナゴ類の中では中上流域を好むため福山市近郊では伏流水のわき出る水域で観察できます。今回は、高校2年の部員が福山市内で「アブラボテしかない」と豪語する地点に出かけ、採集する予定でした。しかし、その場所に着いてみると確かにアブラボテは多くいましたが、様々なタナゴ類を含め他の淡水魚の姿が観察でき、またタナゴ類の産卵場として適した環境と判断したため、「生息環境を荒らすべきでない」と判断し、急きょ『タナゴ釣り作戦』に切り替えました。こういうとき、さまざまな採集道具を積み込んでいると安心です。

タナゴ釣り初心者2名を含み5名での捕獲結果は、アブラボテ52尾、ヤリタナゴ18尾、オイカワ15尾、コウライモロコ2尾となりました。

あらかじめ飼育室に準備しておいた水槽にアブラボテだけ持ち帰り、飼育・観察を行っていきます。



【参加者のようす】

最初、釣り竿や仕掛けの小ささととまどっていた初心者の部員も、先輩の指導ですぐにうまく釣り上げられるようになっていった。そのうち、上から見るだけでヤリタナゴとアブラボテの区別がつくようになり、アブラボテだけねらった釣りになっていった。

アブラボテは、婚姻色が出たオスや産卵管ののびたメスも釣れていたため、春産卵型のタナゴにもかかわらず、この場所での産卵が続いていることが分かった。

～26年ぶりシマヨシノボリの生息確認！～

- 活動日：2012年8月16日
- 実施場所：福山市芦田川
- 参加メンバー&サポーター数：4人

【活動内容】

芦田川の淡水魚類の生息調査を始めて26年になります。これまでに50種以上もの淡水魚の生息確認をしてきています。その中には、以前は採集できた「スジシマドジョウ小形種山陽型」のようにほぼ絶滅したと思われる種も少なからずいます。

また、三十数年前に造られた河口堰が一つの原因となって遡上しにくくなった種もいます。

ヨシノボリ類は芦田川では、カワヨシノボリ・シマヒレヨシノボリ・トウヨシノボリが普通に見られます。ところが、今回の採集で、26年前にたった1尾採集確認できたにすぎなかった「シマヨシノボリ」のメス若魚が採集できました。河口堰を越えて遡上していることが分かり大変嬉しく思っています。



【参加者のようす】

胴長の中は汗でぐっしより、サポーターはウェットスーツを着て、潜水観察を楽しんでいる。夏の魚採集は、本当にきつい。特に、水質の汚れた水域では、胴長を着なくてはいけないので大変だ。

そんなとき、採集した魚たちの中から「新しい発見」があるとやりがいがある。一番喜んだのはサポーターでした。

～タナゴ水中動画撮影作戦決行！～

- 活動日：2012年8月31日
- 実施場所：福山市芦田川
- 参加メンバー&サポーター数：3人

【活動内容】

10月初めに行われる文化祭で「よみがえれ！ タナゴたち！」というテーマで、理科室いっぱいに展示やイベントを繰り広げる予定です。

とうとう日本在来の14種のタナゴのうち、カネヒラ以外はすべて「絶滅の恐れのある種」として指定されてしまいました。自然状態でのタナゴたちのようすをビデオに残すため、撮影しにでかけました。

防水ビデオでの動画は掲載できませんが、芦田川にすむすべてのタナゴ類のようすを撮影できました。



【参加者のようす】

左の写真は、今芦田川で一番多いヤリタナゴです。まだ婚姻色を出している個体もいました。右の写真のように、撮影でも採集でも、堰の直下が絶好のポイントです。どちらも「待つ」ことがポイント。撮影は、防水ビデオを水につけないようアクリル水槽の中に貼り付け、その水槽に重石を入れ、浅い水深のところに固定し、じっと待ちます。撮影結果は、後から見ないと何が映っているか分からない。成果がきちんとあがったことが確かめられ、ほっとしました。